

健康ぷらざ

No.175

企画:日本医師会

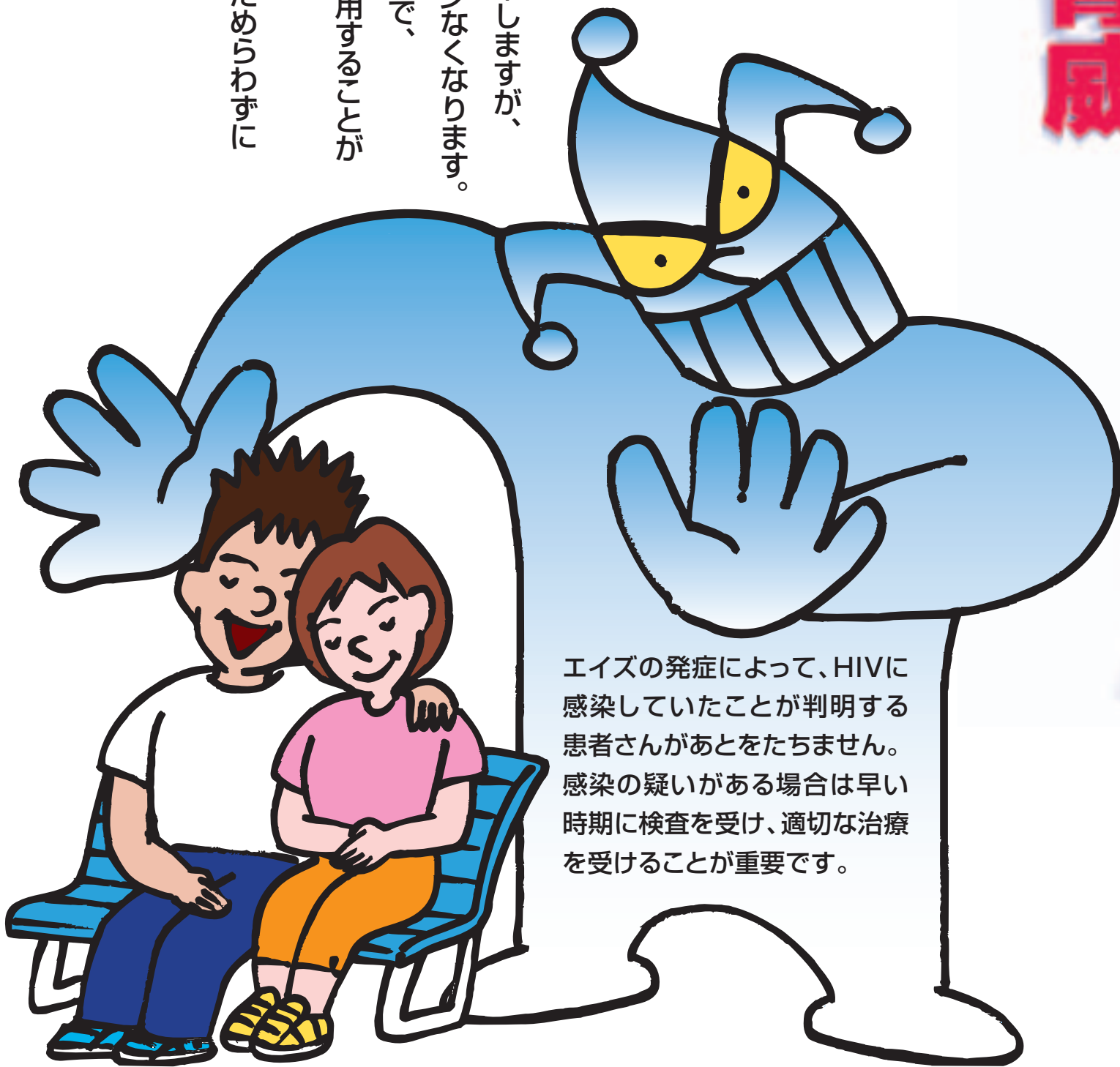
他人ごとではありませ ん エイズの脅威

むしろ状況は悪化しています

人類の生存をおびやかす病気として注目されたエイズに、このところ慣れすぎていませんか？
特效薬が登場したわけでもなく、患者はじわじわ増加し、以前より深刻な状況になっています。

予防は可能です

エイズのほとんどは性的接触から感染しますが、パートナーの数が少ないほど、危険は少なくなります。
無防備なセックスを避けることが重要で、セックスのはじめからコンドームを使用することが最善の予防策です。
しかし万が一感染の疑いがあったら、ためらわずに医師に相談して発病を防ぐと同時に、他人へ感染させないことが大切です。



エイズの発症によって、HIVに感染していたことが判明する患者さんがあとをたちません。感染の疑いがある場合は早い時期に検査を受け、適切な治療を受けることが重要です。

指導・東京慈恵会医科大学泌尿器科・感染制御部 教授 小野寺 昭一

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。